発行　京都市保育園保護者会連合協議会
604-8854　京都府京都市中京区壬生仙念町 30-2
ラボール京都（京都労働者総合会館）５階
TEL.075-801-8810 / FAX.075-822-6220
E-mail: info@shihoren.net
https://kyotoshihoren.wixsite.com/my-site
京都市保育園保護者会連合協議会

京都市保育園保護者会連合協議会
市保連ニュース
2024年4月号

＼保護者も知りたい・給食職員に聞いてみよう／

保育園給食を語る会

を開催しました

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）学習会企画として、２月 23 日に“保育園給食を語る会”を開催しました。京都市内の３ヶ園の給食職員さん（たかつかさ保育園・北田先生、白い鳩保育園・中川先生、朱一保育園・葛野先生）より、各園での給食や子ども達に対する想い、なぜ給食職員になろうと思ったのか、日々大切にしている事…などをお話しいただきました。

当日登壇された白い鳩保育園の給食職員の中川先生に寄稿いただきました。

給食の時間を楽しめる子どもになってほしい ～給食職員として思うこと～

白い鳩保育園　中川 裕香

わたしと保育園給食職員との出会いは学生時代の保育園実習でした。その時に給食室は子どもたちがちょっと息抜きに立ち寄れる場所でもあると教えてもらいました。誰かに話をきいてほしいと給食室にやってくる子どもたちに、給食の先生が「どうしたの？」と声をかける姿をみて、調理だけが仕事ではなく子どもを育てる保育者として関わる大切さを学びました。乳幼児期の食事は案外大きくなっても覚えているものです。長い人生の始まりである乳幼児期に楽しい思い出をたくさん経験させてあげたいと思い、保育園給食職員になることを決めました。

なんでも食べる子どももちろん素敵ですが、ご飯の時間を楽しめる子どもになってほしいと願いながら、毎日の給食づくりをしています。わたしが新人のころ、保育園で一番嫌な時間が給食とおやつの時間だという子がいました。苦手なものを頑張って食べても「もっと食べて」と言われるから嫌だと教えてくれました。その言葉を聞いて、子どもが自分で食べたいと思う瞬間を大切にしようと思いました。その子が卒園してから遊びに来てくれたときに、保育園では白ご飯しか食べなかったけど、小学生になったら少しずつ食べられるものが増えていったと笑顔で教えてくれました。残さず食べることよりも子どもたちが気持ちよく過ごせる時間にすることを優先してよかったと思いました。

保育園に給食室があるからこそ、できたての美味しい給食を提供することができます。ただ単に給食やおやつが時間になったら出てくるのではなく、朝に一緒に皮剥きをしたり、目の前で野菜を切っているところをみてもらったり、園庭まで漂ういい匂いから今日の給食を予想したり。作る過程から一緒に楽しむことで、食への好奇心が高まり、子どもが自分から（いつもは苦手なものであっても）食べたいと手を伸ばすようになっていきます。また、保育園ではみんなで食べる、一緒に食べる人の存在も大きいです。大好きな友だち、先生と食べるからこそ、張り切って食べる姿もいっぱいみてきました。また調理の時間だけでなく、時には保育室を覗きにいって子どもたちと遊ぶこと、食の時間以外の関わりも大切にしています。子どもは自分が安心できる（知っている）ものでなければ食べたいという気持ちにはなりません。それは食材はもちろんのこと、知っている人かどうかも大きいです。信頼できる人が作った給食なら食べてみようかなと思えるものです。

最後に、今の京都市に言いたいことがあります。わたしたちは子どもの豊かな心と身体の成長を願って日々給食を作っています。保育予算の削減により、給食職員の人数も減らされようとしています。作り手の数が減ると、子どもたちのために出来ることも限られてしまいます。これからも子どもに寄り添いながら働き続けられるように、公的な保育制度の拡大を求めます。

“保育園給食を語る会”には保護者、保育士の先生方、園長先生など約 30 名の方々にご参加いただき、食育の大切さについて改めてじっくりと考える、実りある学習会となりました。白い鳩保育園からお持ちいただいた手作りおやつを皆さんでいただきながらの、参加者の意見交換・交流では、保護者の方々からも食への関心の高さを感じました。

子どもの豊かな心と身体の成長を願い、日々給食を作っておられる給食職員さんをしっかり確保していただけるよう、市保連からも引き続き、京都市に公的な保育制度の拡大を求めていきたいと思います。

今回の学習会に参加された方々の感想を掲載させていただきます。

お話を聞き、“温かいものをみんなと美味しく食べる”、“食べ物の湯気や香り、感触を感じながら生活をする”。この大切さを感じ、保育園時代に我が子はそれをたっぷりとさせてもらったんだなあと嬉しく感じました。

そんな我が子には偏食があります。彼が小学校 4 年生の頃、疲れが出たのか、食べられるものが極端に減る時期がありました。そんな時「お母さん、保育園で茶色いクリームのついたパンが出てた。それが食べたい。美味しかった! 」と伝えてくれることがありました。「これを食べたい」ということがない子なので、嬉しくて保育園の先生に相談。すぐに栄養士さんからお手紙とレシピを頂きました。そのレシピの一つ「きな粉バタークリーム」が彼の食べたかったものだったのです。

親としては、小学生になっても保育園時代を話す姿に戸惑っていたのですが、保育園時代の“あたたかい”記憶が、揺れ動く時期の気持ちを支えるエネルギーになっていたんだなと感じています。

子どもの育ちには、食べることが欠かせません。これからも、子どもの豊かな育ちに、仲間と食べる、あたたかい食事の記憶があり、それが守られる社会であればと願います。

白い鳩保育園　元保護者

学習会をありがとうございました。子どもの食育や食の安全性に関心があり、参加させて頂きました。

好き嫌いが多く白ごはんしか食べない、給食とおやつの時間が毎日辛いという子どもに、給食室の先生方が一丸となり、子どもの気持ちに寄り添い、従来のスタイルを変え、食べることが楽しくなる工夫をされたお話には胸が熱くなりました。こんなに真剣に一人一人の子どもの食に向き合ってくださっている方々がいることをうれしく思いました。自園の給食の先生にももっと感謝の想いを伝えなければと思います。

民間の保育園だからできるおもしろい取り組みもたくさん教えて頂きました。子どもの食に関する「ちょっとした 大きな工夫」を家庭でも取り入れ、楽しい食事の時間を創っていきたいです。

お話頂いた先生方は、保育園でのお仕事に熱い想いがあり、やりがいを感じられている一方で、勤務環境から次世代を担う後進の不足や育成に不安を感じられていました。食べることは人が生きていく根っこの部分だと思います。子どもにとって良い取り組みができるように、行政からの支援がもっとあればいいのに…と思いました。保育園の給食の担い手が余裕のある環境を整えることは、子どもの食べること、食べ物を作ることの大切さを育むことにつながり、それは将来、社会の強さにもつながるはずです。

吉田山保育園　保護者





「保育園給食を語る会」の企画、ありがとうございました。

お話しいただいた調理の先生方の３人ともが、「作る人と食べる人の距離が近い」から保育園調理の現場で働くことを選んだということが印象的でした。

でも一方で、保育園の調理職員の配置基準の低さが現実にはあり、北田さんが言われた「何がすべきことで、何がしなくて良いことなのかな」という言葉は象徴的だと思いました。まずやるべきことが子どもたちが安心してご飯を食べられることなのは間違いないですが、食べられたらそれで良いのでしょうか?

中川さんは、「保育園時代に何を大事にするか」「“食べられる”ことより、“食べることが楽しい、食べることが好き”ということを大事にしたい」と話されていました。

葛野さんからは、最後の一作業を子どもたちがするようにしているという工夫や、調理の先生が子どもたちの様子を見に行き関係をつくっているというお話もありました。栽培やクッキングも、保育士だけでなく調理の先生が関わり取り組むことで、子どもたちの興味の持ち方が全然違うことは私自身も保育士として目の当たりにしてきたところです。保育園の給食室は、「食事を支給する」だけではない専門性がそこにあることを、保育士とも保護者とも共有し、制度化していく力にしていきたいと思いました。

たかつかさ保育園　保育士

保護者と京都市との懇談会を開催しました

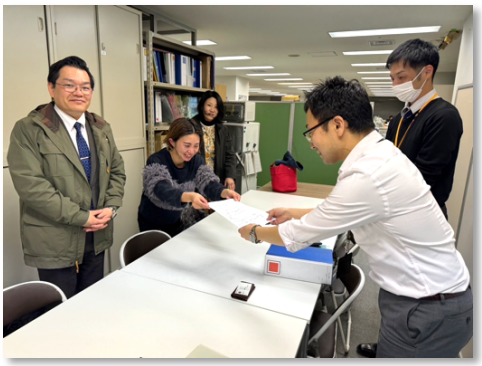
３月21日（木）19時より、京都市子ども若者はぐくみ局にて、京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）と京都市との懇談を開催しました。市保連より役員・事務局と保護者合わせて５名、京都市よりははぐくみ局企画係長と民営保育施設係の方２名が参加しました。

今回は、昨年市保連から提出した要望書への回答（以下に掲載しています）を事前にいただいていたので、その内容を深める形で意見交換を行いました。

京都市は、「子育て環境日本一」を掲げてさまざまな施策を展開していますが、子どもや保護者の立場からみると、それをなかなか実感することのできない現実があります。保育士の配置基準や給食職員の配置、保育園への補助金、保育料、市営保育所の必要性などについて、保護者として感じていること、困っていることを率直に伝えました。京都市としては、市単位で解決を図るだけではなく、国にも要望を出しながら制度改善を求めたいということでした。

また、京都市は、他市への子育て世帯の流出が大きな問題となっています。市保連からは、その原因は住居費の高騰と子育て政策の不十分さにあるのではと指摘しましたが、京都市としても問題意識を持っており、対応策を検討したいという意見が出されました。

今回は、京都市の担当者も子育て中の保護者ということで、ときにお互いの意見に共感しながら有意義な意見交換ができました。コロナ禍や京都市側の事情により、ここ数年、保護者との懇談の機会を持つことがかないませんでしたが、やはり対面で率直にお互いの事情を話すことの重要性を実感しました。市保連からの「今後も継続的に懇談の機会を持っていただきたい」という要望に対して、京都市からも「対面して意見を聴ける機会は重要だと考えている」という回答があり、今後の継続的な機会の確保に期待が持てることとなりました。



生活者の生活実態や様々な施策への思いを行政に直接伝える機会はとても重要です。次年度以降も、多くの保護者にぜひ参加していただきたいと思います。

令和６年１月１５日

京都市保育園保護者会連合協議会
会長　池田　智子　様

京都市子ども若者はぐくみ局
幼保総合支援室幼保企画課長

保育制度の改善を求める要望書について

令和５年１２月２７日に提出いただいた標記文書について、下記のとおり回答いたします。

記

１　不適切保育や虐待に関する行政の相談体制、具体的な対応手順を整え、保護者に周知してください。横浜市のような専門相談窓口を整備してください。

本市ではこれまでから、保護者等から保育所等における不適切事案に係る相談があった場合は、保育所等を所管する幼保総合支援室と監査を担当するはぐくみ創造推進室が連携して、速やかに事実確認を行い、必要に応じて園に改善指導等を行っております。

園を利用する保護者からの相談窓口につきましては、保育所等を所管する幼保総合支援室に加え、子どもや子育て家庭に関する総合相談窓口の機能を担う各区・支所の子どもはぐくみ室において対応することとしております。

２　保育士配置基準のさらなる改善を進めてください。給食調理員の配置についても改善をしてください。

本市では、市独自負担による、国基準を上回る手厚い保育士配置を実施しており、例えば、１歳児について、国基準が６：１のところ、条例で定める基準を５：１に引き上げた上で、１歳８か月に満たない子どもについては、４：１まで保育士を加配できるよう助成しております。

また、調理師等の配置についても、０歳児の人数に応じた離乳食対応のための加配や、アレルギー児の人数に応じた除去食対応のための加配など、国基準を上回る配置や対応を可能としております。

保育士の配置基準については、この間、国に対して更なる改善を求めてきたところ、一定の充実が図られることとなっておりますが、引き続き、配置基準の更なる充実を要望してまいります。

３　保育料の無償化を目指してください。まずは近隣自治体並みに引き下げてください。当面の対応として２人目減額、３人目免除（無償）の制度について、同時入園の要件や所得制限を止め、どの子も同じように減免が受けられるよう公平な制度にしてください。

保育料につきましては、安心・安全な保育を実施するための費用として、国、都道府県、市町村及び保護者で分担して負担する仕組みとなっています。

そうした中でも、本市ではこれまでから、子育てに係る経済的負担の軽減を図るため、約１５億円もの独自財源を投入し、保育料を全体として、国基準の約７割に軽減し、子育て世帯の支援に取り組んでいます。

保育料については、本来、国の責任において、統一的な取扱いが行われるべきものでありますが、本市としても、引き続き、幅広い観点から子育てに係る負担軽減策を検討するとともに、国に対して必要な要望を行ってまいります。

４　民間保育園への補助金削減を中止してください。補助金の総額を元に戻し、保育のために使ってください。保育士など保育園職員の昇給を制度的に保障してください。保育士加配制度をより使いやすくして、障害児やアレルギー児、外国ルーツの子どもが入園しやすい仕組みを整えてください。給食調理員の３人目以降の給与を正規並みに保障してください。施設整備、施設改修のための補助金を保障してください。

本市では、保育士等の職員の処遇の維持・向上を図るため、これまでから国の給付費に加えて、本市独自で補助を行ってきており、令和４年度の制度再構築後も、９０人定員の場合では国基準の１．３倍の配置基準や、調理師配置基準の本市独自の加配、保育士等について全国平均を１００万円以上も上回る単価を設定するなど、引き続き全国トップレベルの処遇水準を確保しております。

また、新たな制度開始後も、令和４年２月市会の付帯決議や現場の声を踏まえ、障害児加配補助金の充実や、認定こども園の事務員の配置の充実、アレルギー対応による調理員の加配など、必要な充実を行ってきております。

加えて、より一層各園の実情に応じた対応を可能とし、将来にわたって処遇の維持向上を図るため、人件費収入からの控除割合を６．５%から１．５倍以上となる１０%に拡充する補正予算を去る１１月市会において提案し、議決いただいたところです。

本市の人件費補助は、全体として保育士等の処遇を向上させることを目的としており、労使間で決められる個別の園の保育士等１人１人の給与を本市として保障するものではありませんが、今回の拡充は、いただいた様々な御意見等に網羅的に対応できるとともに、将来にわたって、保育士等の処遇の維持向上を図る大幅な拡充です。これによりあるべき制度の形は整ったと考えており、元に戻すことはありません。

本市としても、この充実した制度を来年度以降も堅持するとともに、引き続き、持続可能な園運営を実施いただけるよう、しっかり支援してまいります。

５　市営保育所の廃止・民営化を中止してください。近年、市営保育所での障害児の受け入れ割合の増加が止まらない状況について、その原因や対策について検討をして、改善をしてください。

本市では、公・民が一体となって保育の質の向上及び地域の子育て支援の更なる充実を図っておりますが、公・民の役割分担については、あらゆる場面で検討を進めることとしており、京都市はぐくみプランにも示しているとおり、引き続き、公としての役割について不断の検証を行ってまいります。

また、障害児の受入について、市営保育所では多くの障害児を受け入れておりますが、民間保育園においても、年々障害児受入数は増加しております。引き続き公・民一体となって、障害の有無に関わらず、子どもたちが身近な地域で受け入れられるよう取組を進めてまいります。

2024 年度京都市保育園保護者会連合協議会 総会のご案内

2024 年度京都市保育園保護者会連合協議会(市保連)の総会を下記の日程で開催します。例年通り、市保連加盟の保護者会の皆さんに市保連の活動報告や活動計画等について審議・承認をいただくほか、保育のあれこれについて保護者の皆さんと一緒に考えるミニ学習会や、保護者同士の意見交流・情報交換の場も準備しています。

ぜひ多くの加盟保護者会の皆様にご出席いただきますよう、お願い申し上げます。

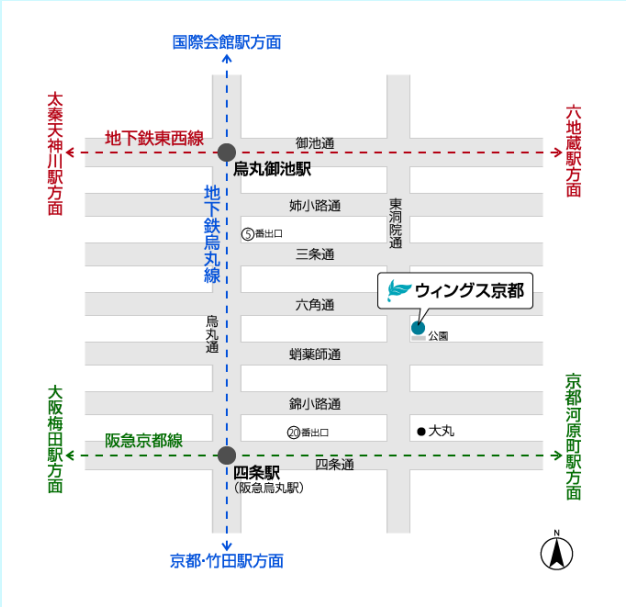
日時：2024 年 7 月 7 日(日)10:00〜14:00

場所：京都市男女共同参画センター
ウィングス京都 2 階セミナー室 B

内容：市保連総会
保護者ミニ学習会
保護者会活動交流会

※オンライン参加も可能です。
※現地参加の方は保育もあります(要申込)

詳細は追ってお知らせいたします。



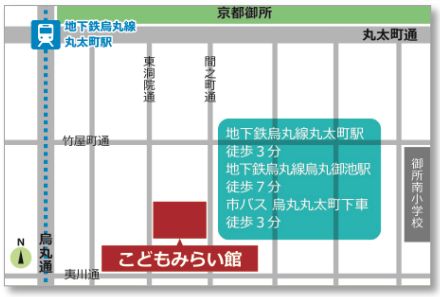
〒604-8147 京都市中京区東洞院通六角下る御射山町 262 番
京都市男女共同参画センターウィングス京都

※ 一般来館者要の駐車場はありませんので、電車・バスをご利用ください。

2023 年度第３回保護者会活動交流会のお知らせ

2023 年度第３回市保連保護者会活動交流会を下記の通り開催します。

日時：2024 年 4 月 22 日（月）19 時から 20 時 30 分
場所：こどもみらい館 4 階第 2 研修室 A
（京都市中京区間之街通竹屋町下る楠木町 601-1）
※ オンライン参加（Zoom 使用）も可能です
※ 現地参加の方は保育もあります（要申込）



現地でのご参加を希望される方は、保育の必要の有無を含めて、4月19日（金）までに市保連事務局へメール（info@shihoren.net）またはお電話（075-801-8810）にてご連絡ください。

Zoomでのリモート参加も可能です。リモート参加をご希望の方は、4月19日までに市保連事務局へメールにてご連絡下さい。折り返し、事務局よりZoomミーティングID・レジュメなどをお送りします。

各園の保護者会役員が抱える悩みを相談し合い、他の保育園の状況についても知り、交流する機会ともなります。未加盟の保護者会、保護者個人でのオブザーバー参加も歓迎いたします。

●お仕事と子育てで大変お忙しい日々と思いますが、皆さまぜひご参加ください！●

★市保連メーリングリスト／LINE オープンチャットご登録のお願い★

京都市保育園保護者会連合協議会（市保連）では保護者・保護者会相互の交流や情報交換のため、メーリングリストと LINE オープンチャットを設けています。参加資格は各保護者会の会長、副会長、または市保連を担当する役員の方々です。ぜひご参加ください。参加を希望される方は、市保連事務局（info@shihoren.net）までメールにてご連絡いただければ、参加方法をご案内します。

『市保連ニュース』のバックナンバーは、市保連ホームページで公開中です！